



新しい生活様式のもと、2学期がスタート！

校長 立野 文雄

暦の上では秋とはいえ、連日のように猛暑が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の夏休みは、新型コロナウイルス感染防止のための制限や猛暑による熱中症予防のために、子供たちが外出する機会は少なかったのではないのでしょうか。子供たちからは「夏休みが楽しかった。」という声が多数聞かれました。ご家庭で工夫されていた様子を垣間見ることができました。皆様、ご苦労の多い夏休みだったことと思います。

私事ですが、7月に豪雨災害があった熊本が故郷で、何か少しでも役に立てないかと帰省を計画しました。しかしながら、都外への移動の自粛要請もあり、中止せざるを得ませんでした。心の中で1日も早い災害からの復興を願うばかりです。

さて、2学期が始まり、子供たちの明るく愛らしい笑顔が学校に戻ってきました。まだ大声は出せませんが、授業中や休み時間の子供たちの声・動く音が聞こえるのは、まさに学校の日常で嬉しい限りです。コロナ禍ですが、新しい生活様式のもと、今後も子供たちが登校し続けられることを切に願います。

学校では、新型コロナウイルス感染防止対策を継続していきます。感染防止について子供たちの気が緩まないように、引き続き指導にあたっていきます。保護者・地域の皆様には、2学期もご理解とご協力をお願いいたします。

◆新型コロナウイルス感染拡大を防止するためのお願い

- ・引き続き、健康観察カードを活用して、**毎朝の検温の実施と風邪症状の確認**をお願いします。
- ・**発熱や風邪症状等**の体調不良がある場合は、**登校の自粛にご協力**ください。
- ・家族内感染が増加傾向にあるとの報道があります。**ご家族に風邪症状が見られる場合も、登校の自粛にご協力**ください。

◆特別時程の継続と児童による清掃の開始について

- ・東京都の新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、当分の間、これまでの「**特別時程**」での学校生活を継続します。
- ・**段階的に児童による清掃**を始めます。**火曜日と木曜日の放課後に当番制**で簡単清掃を行います。当番になった日は、下校が10分程、遅くなります。当番については、学級で、事前に子供たちに伝えるようにします。

(※1年生は5分程度のごみ拾いとします。)

- ・**土曜授業**(月2回程度)の生活時程を本日配布しましたのでご確認ください。

9月の主な行事予定

1	火	聴力検査1・5年
2	水	聴力検査2・3年
3	木	尿検査(全)
4	金	まなびの教室始 耳鼻科検診1・3・5年
5	土	土曜授業日
6	日	
7	月	道徳週間始 身体計測3～6年 クラブ活動 教職大学院学校臨床実習始
8	火	身体計測1・2年 放課後学習教室1～4年
9	水	
10	木	安全指導 側わん症検診5年・他
11	金	道徳週間終
12	土	
13	日	
14	月	クラブ活動
15	火	放課後学習教室1～4年
16	水	
17	木	伝統文化理解教室5年
18	金	音楽鑑賞教室代替授業支援6年
19	土	土曜授業日 自転車シミュレーター3・4年
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	秋分の日
23	水	ジャイアンツアカデミー出前授業3・4年
24	木	
25	金	学校選択票受付始6年
26	土	
27	日	
28	月	委員会活動
29	火	放課後学習教室1～4年
30	水	歩行者シミュレーター1・2年

※予定は変更になることがあります。

※(全)は全学年。

思いやりの気持ちがある言動を

副校長

新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて、8月25日に文部科学大臣のメッセージが発信され、本校では、その中から「保護者や地域の皆様へ」を配布しました。「感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さない」「学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力」の2点がお願いとして掲載されています。また、子供たちに向けては、放送による全校朝会で、校長が「児童生徒等や学生の皆さんへ」を代読し、話をしました。感染した人や症状のある人を責めない、また、高齢者や病気がちの人たちを感染させないように、思いやりの気持ちがある言動への協力が述べられていました。この「思いやり」は、本校の教育目標の1つ「思いやりのある子」にも通じるものです。コロナ禍の今、学校では差別や偏見の防止に向けて、子供たちと思いやりについて考えていく機会を設けていきます。ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。なお、メッセージの全文及び不安や悩みを受け止める相談窓口については、文部科学省のホームページに掲載されています。(https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00122.html)

本校周辺の歴史

事務室

本校での勤務も5年目となりました。新宿区で働くのは初めてでしたが、高田馬場は本当に魅力の多い街だと感じています。今年、開校95周年を迎える節目の年ということもあり、高田馬場周辺の歴史について調べたり、実際に散策してみたりしました。

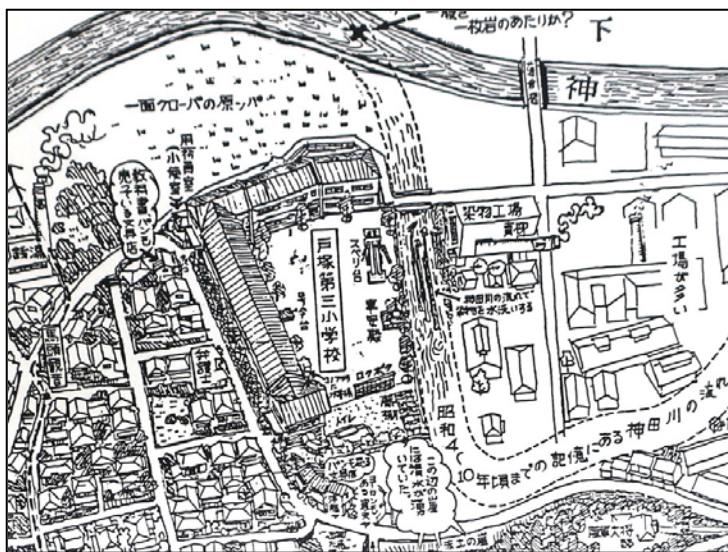
先日、新宿区の防災マップを確認していて、戸塚特別出張所の管轄区域の境界線が本校と裏手のマンションとの間にあることに気が付きました。不思議に思いつつ、ふと職員室前の廊下にある、1940年頃の絵地図が目に入り、疑問が解けました。昔の神田川の流れに沿って、地区が分かれていたのです。さらに下流に向かって、山手線の線路を超え西早稲田にかけては、神田川を挟んで新宿区と豊島区とが互いに飛び地となっている箇所があります。ここからも、昔の川の流れが想像できます。お手元にある「とまっぷ」をご覧ください。

高田馬場は大昔から人々の営みがあった土地です。現在、コーポラスや茶道会館が建っている付近では、弥生時代の遺跡が発見され、土器や銅鐸が出土したそうです。街中を歩いてみても、たくさん歴史を感じとれる場所があります。一例として「腰折れ地蔵」を紹介します。江戸時代（元禄年間）の「高田馬場の仇討ち」で追われた侍がお地蔵さんの陰に隠れて難を逃れたそうで、その時お地蔵さんの腰の部分に傷が残ったので「腰折れ地蔵」と呼ばれるようになった、という逸話があります。元々はさかえ通りの方にあったのが何度か移転を経て、現在は本校の通学路沿いに鎮座しています。探してみてください。ほかにも、江戸時代に死没した馬の埋葬・供養をしていたという言い伝えのある「馬頭観音の碑」も、本校の近くにあります。調べものをするたびに新たな発見があり、ちょうどこの原稿を書いている途中で、高田馬場駅の改札前のさかえ通り入り口に神社があるということを知り、今度見に行こうと思っているところです。

これからの季節は、だんだんと涼しくなってきます。秋の夜長に地図を眺めたり、散策してみたりして、地元高田馬場の歴史を感じとっていただけたらよいと思います。



【防災マップ】



【1940年頃の絵地図】



【腰折れ地蔵】



【馬頭観音の碑】